

# Step1 本人の意思決定する力を考える「理解」

## 評価

1：十分である可能性が高いが、

2&3：情報収集や高める支援をして評価の精度を高めることが必要

理由	<ul style="list-style-type: none"><li>・病名・病状に言及しておらず、変形性膝関節症という疾患について理解できているかどうかは、この会話のやりとりからは不明である(20年間通院してはいるが)</li><li>・痛みに対して、手術か鎮痛薬での対応か2択であること、手術の利益である疼痛が緩和する可能性や負担である合併症、鎮痛薬の他の選択肢に言及しており、医師の説明を理解できている</li><li>・一方で「先生は、手術しろって言ってた」という発言から、部分的に誤解もある</li></ul>
評価のために必要な情報	病名・病状を本人の言葉で話してもらい、理解を確認する(「ご自分の病名や病状をどのように理解しているか、教えていただいてよろしいですか?」)
「理解」を高めるためにできる支援	部分的な誤解については、一度に情報を口頭で伝えても理解が難しいことが一因ではないかと推測され、複数回説明する、パンフレットを活用するなどの説明の工夫をすることで、より理解が深まる可能性がある



# Step1 本人の意思決定する力を考える「認識」

## 評価

(1～4のうちから選択、複数回答可。1:十分,2:情報不足で評価が困難,  
3:意思決定する力を高める支援をして評価をすることが必要, 4:不十分

理由	
評価のために必要な情報	
「認識」を高めるためにできる支援	



# Step1 本人の意思決定する力を考える「論理的思考」

評価	(1～4のうちから選択、複数回答可。1:十分,2:情報不足で評価が困難, 3:意思決定する力を高める支援をして評価をすることが必要, 4:不十分	
理由		
評価のために必要な情報		
「論理的思考」を高めるためにできる支援		



# Step1 本人の意思決定する力を考える「表明」

## 評価

(1～4のうちから選択、複数回答可。1:十分,2:情報不足で評価が困難,  
3:意思決定する力を高める支援をして評価をすることが必要, 4:不十分

理由	
評価のために必要な情報	
「表明」を高めるためにできる支援	